

平成30年度 国見小学校学校評価

観点	具体項目	単年度目標	具体的対策	評価者	数値目標等(努力・成果)	B評価	部	担当	評価	7月	12月	成果と課題対応	
確かな学力	思考力・判断力・表現力の育成	対話的活動で学びを深める授業の工夫	ねらいや工夫した点を明確にし、その評価をする授業を実践する。	職員	本校は、テーマに沿った授業研究会ができた。	100%	研究部	家接	A	100%	100%	○学習規律、学び合い、基礎の定着の三本柱にて学力向上の取り組みが実践できている。 □学習ルールを共通理解する場を設定したい。	
				児童	私は授業で、自分の考え方を発表している。	80%			B	84%	86%		
	学習ルールの確立	学習ルールの共通理解と実践	実態や状況に応じた学習ルールを適時確認する場を設定する。	職員	本校は、学習ルールを確認する場が持てた。	80%			B	88%	88%		
				職員	本校は、子どもは学習ルールが身につけている。	80%			C	38%	70%		
				職員	私は、机間巡回やノートで児童の到達度や考え方を把握した。	80%			B	75%	88%		
	基礎・基本の定着	一人一人の到達度を把握した指導の実践	確認問題・ノート等で到達度を把握する。 満点をとる漢字・計算テストを実施する。 各児童の分からないところを補充する。 調査にて成果を検証する。	職員	私は、漢字・計算テストで満点がとれるように配慮した。	80%			A	100%	100%		
				児童	先生は、分からないところを教えてくれる。	90%			B	97%	90%		
達成率				算教科CRT調査にて、標準点を越える学年の割合	4/6								
豊かな心・健やかな体	夢や目標に努力を続ける、自立する力の育成	キャリア教育の推進	授業や学校行事、学級経営で、目標を設定する場を設定し、その支援をする。 青年会議所や公民館などの力を借りて、より具体的に夢や職業を考える場を設定する。	児童	私は、目標に向かって頑張っている。	80%	各分掌	高井	B	84%	81%	○キャリア教育等の成果で、児童は目標や将来の夢を持って生活している。 □伝える力は備わってきているが、他者の考えから自分の考えを広げるコミュニケーション力をつけたい。 □学校教育全体で正義感とそのリーダーシップを育てたい。	
				職員	私は、児童に目標を持たせ、その支援ができた。	90%			C	63%	85%		
				児童	私は、なりたい人やなりたい職業がある。	80%			A	94%	100%		
				職員	学校は、夢や将来の職業を考える教育を実践できた。	80%			A	100%	100%		
	リーダーシップとフォローアップの育成	相手を尊重する心や態度の育成	児童の相手の呼び方や言葉遣いなど、ふさわしい言動を指導をする。 リーダーシップとフォローアップを育てる創り活動を実践する。	児童	私は、他人にやさしくして、ていねいな言葉遣いをしている。	80%			B	100%	86%		
				職員	私は、いじめを見たらとめることができる。	90%			D	78%	64%		
				職員	本校は、上級生と下級生が協力し、お互い高め合っている。	80%			A	100%	100%		
	強い意志による健康・体力の向上	チャレンジする運動の推進 自分の体は自分で守る意識の向上	目標記録を設定した体育、業間運動を実践する。 普段の生活でどのように自分の体を守るか、具体的に理解させる。	保護者	わが子は、学校生活を楽しくしており、友人関係も良好である。	80%			A	94%	90%		
				児童	私は、道徳の時間で自分の考えを発表している。	80%			B	81%	81%		
				職員	私は、対話型道徳の授業を実践できた。	80%			C	70%	70%		
協働する組織	共通理解による学校教育目標の実現	職員の意思疎通	時と場に応じた連絡や会議をする。 気になる児童支援の共通理解を図る。 学校行事をふり返る場を設定する。	職員	本校は、共通理解が図られ、協働する組織作りがなされている。	80%	総務部	校長 教頭 教務	A	100%	100%	○職員の資質向上や気になる児童の支援など、職員間の連携ができています。 □自立した児童の姿を様々な場で地域や保護者に見せたい。 □児童と国見地区との関わりをさらに増やしたい。	
				職員	本校は、児童支援の共通理解を図ることができている。	80%			A	100%	100%		
				職員	本校は、PDCAによる改善サイクルができています。	80%			A	87%	100%		
		育てたい児童・生徒像への実践	学校行事や学級経営において、育てたい姿を意識した計画を立てる。 児童と国見地区への関わり方を工夫する。 保護者や地域に自立した姿を見せる。	職員	私は、校務分掌において、自立など学校のめざす子ども像への取り組みができた。	80%			A	75%	100%		
				職員	本校は、目指す子どもの実現に向けて取り組んでいる。	80%			A	100%	100%		
				児童	私は、国見地区が好きである。	90%			C	94%	81%		
	児童理解の充実 資質向上を図る実践	気になる子を、終礼で共通理解をする。 月曜日の現職教育を充実させる。	職員	本校は、児童の実態を把握し、配慮した対応ができています。 本校は、職員の資質向上に向けた取り組みがなされている。	職員	本校は、児童の実態を把握し、配慮した対応ができています。			80%	C	67%		78%
					職員	本校は、職員の資質向上に向けた取り組みがなされている。			90%	A	100%		100%
					職員	本校は、保護者の評価を受け止め、学校改善に結び付けた。			80%	A	100%		100%
					保護者	私は、子どものことで気軽に相談できる。			70%	A	82%		91%
信頼される学校	家庭・地域との協働体制の構築	地域・保護者との対話	地域や保護者の願いを受け止めるとともに、学校の願いも伝える場を設定する。 保護者の意見について話し合う場を持つ。	保護者	本校は、子どもの一人一人を大切に温かく指導している。	80%	C	54%	69%				
				職員	本校は、職員(学校)と保護者との対話ができている。	70%	A	82%	91%				
				職員	本校は、保護者と対話をする場が持たれている。	80%	A	82%	100%				
	学校理解の推進 郷土を愛する心の育成	学校の情報を公開することで、学校の努力している点や課題を理解してもらう。 地域と進める体験事業にて地域の良さを発見し、PR活動を実践する。	保護者	本校はお便り等で教育内容を適切に伝えている。 学校、児童の生活スケジュールは適切である。。	保護者	本校は、保護者と対話をする場が持たれている。	80%	A	89%	92%			
					職員	本校は、地域と連携した教科や総合学習、学校行事を実践することができた。	80%	B	94%	85%			
					職員	本校は、保護者と対話をする場が持たれている。	80%	A	100%	100%			

*アンケートの評価 (A:よく当てはまる B:やや当てはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない) B評価=AとBの合計で「よい」とする百分率 【A・B】28 【C・D】7

